

□ 要請番号 (JL02118A07)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
カンボジア	G182 小学校教育		個別	新規	2年	・2018/3 ・2019/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育青年スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

バタンバン州小学校教員養成校付属小学校

3) 任地 (バタンバン州バタンバン) JICA事務所の所在地 (プノンペン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 6.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、カンボジア国内に18校ある小学校教員養成校(2年制)の一つに付属する小学校。日本の小学校1年から6年にあたる児童が学んでいる。また、同校が付属する教員養成校の学生の教育実習先の一つであり、かつ卒業生の勤務先の一つとなっている。教員数13名、児童数は1年から6年まで各2クラス編成で1クラス約23名の計280名の小規模校である。同校が付属する教員養成校には、これまで小学校教育の青年海外協力隊(理科、体育、音楽、図工)5名が派遣された実績がある。この他、カンボジアは現在教員養成校再編の過渡期にあり、2018年以降順次4年制大学へ移行する予定がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国の教育現場では、単に教科書の記載内容を暗記するだけの授業が主流となっており、理科についても実験を通じた現象の観察による理解や、科学的な考察力を深める授業ができていない。当校においても付属する教員養成校に2011年3月まで派遣された小学校教育の青年海外協力隊(JV、理科)の活動で整えられた実験機材があるにもかかわらず、それらの活用が付属小学校まで波及しておらず、実験授業ができる教師が少ない。また体育や音楽についても、教員養成校に派遣された歴代JVの支援を受けながらも、主要科目でないため教員の教授力向上が進んでいない。そのため、当校に対して直接理科の実験授業、体育、音楽の教授能力向上を支援するJVが要請されることになった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

以下の活動を4年生から6年生担当教員と共に行う。

1. 理科の実験授業内容の充実および指導力向上に向け、担当教員に対し支援・助言を行う。
2. 実験機材の管理方法、および、代替品による実験機材の制作、活用方法について、紹介・実施支援する。
3. 体育の指導レベルが十分でない教員とともに体育授業を実践する。
4. 余力があれば、歌やリズムなど、生徒が音楽に触れる機会を増やし音楽の楽しさを伝える。(但し、音楽はカリキュラムには含まれていないため、空いている時間を利用して指導を行う)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教員養成校が所有する以下の機材を借用する。

顕微鏡、フラスコ等科学実験機材一式、電流/電圧計等、基本的な機材/試薬

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長:女性40代

4年生から6年を担当する教員:6名(30-40代)

児童:約130名(4年生から6年生それぞれ2クラス編成、1クラス22-23名)

5) 活動使用言語

クメール語

6) 生活使用言語

クメール語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(小学校教諭)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(教員経験) 3年以上 備考：教員に対する支援を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(22~38℃位) [電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(安定)

【特記事項】